

9月のささやまっこだより

令和5年9月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎



残暑厳しい中、午前中の外あそび時間を短めにし、遊んでいます。騒がしかったセミの鳴き声が減る中、今はトンボを追う姿も見られるようになり季節が秋に向かっていくことは間違いないかと、心地よい秋風が吹くの待つばかりです。子どもたちは園庭にいる間は、自分が遊びたいことをみつけ、もくもくと動きまわっています。ばら組さんは、園庭にラインを引きリレーごっこが始まり、それを見てふじ組さんやもも組さんも一緒に走ってみたりして、走る楽しみを少しずつ感じているようです。



どどんこ ドン!

4月から始まったばら組さんの日本太鼓。年長さんになるとやっと触れることができるのです。「あいさつの仕方」や「約束事」を守りながらの活動です。担当する太鼓が決まり、はりきって練習に励んでいます。始めたころは、自分が叩いている太鼓の音に酔っている状態でしたが、次第に友だちと音を合わせようとする気持ちも出始めました。練習をしていると、偶然に音が「ピタッ」と合う時があります。その気持ちよい感覚を味わうと、音をあわせようとする意識が更に芽生えてきます。友だちと切磋琢磨しながら頑張ってくれることでしょう。

『何をするにもイヤイヤでどう接したらいいのか?』1歳児

☆ 自我の芽生え=子どもの“独立宣言”です。



ぼくだけのプールだ!

今まではママとの一体感から、何でも理解されてきましたが、自我が芽生え、自分自身の意思や感情がはっきりしてきます。「ごはんにしようか?」と誘えば「イヤー」、「汗が出たから着替えようね」といえば「ダメ!着替えない」と逃げていきます。「ぼくはこうしたい」「私はこれが好き」など、何でも自分で決めたいと願い、大好きな大人にぶつかっていく体験をすることになります。大人が言っていることはわからないではないけれど、今は大人の言いなりに行動したくない「自分なりの心の世界の誕生」を意味します。

大人としては、大人のいうことを聞かなくなった、「扱いにくくなった子」と困った姿として見てしまいがちですが、自己主張をするようになってきたことを、大切に認めていきたいものです。要求が通らなければ、泣き叫ぶこともあるし、大声をあげることもあります。だからといって、何でも子どもの言いなりになるのはNG。

子どもの主張を受け止めた上で、お互いに折り合いをつけることを教えていきましょう。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」 今井和子著



いーっぱい
いれたよ

9月の行事予定表

- 7日(木) } 榎原中職場体験
- 8日(金) }
- 9日(土) 園内研究会
- 20日(水) 避難訓練
- 26日(火) 誕生会

4日、21日…えいごであそぼう(ばら組)
11日…えいごであそぼう(ふじ組)

10月の行事予定表

- 10日(火) 運動会リハーサル
- 13日(金) 運動会準備(17:30から会場設営
(早めのお迎えにご協力ください))
- 14日(土) 運動会(さくら、もも、ふじ、ばら組)
※ たんぽぽ・すみれ組さんは家庭保育にご協力
ください。午後は園内研究会です。
- 19日(木) ばら組 高良山登り(ばら組のみお弁当)
- 20日(金) 避難訓練
- 25日(水) 誕生会
- 26日(木) 第2回 内科健診

16日、30日…えいごであそぼう(ばら組)
2日、23日…えいごであそぼう(ふじ組)

救命講習で実践練習

8月の園内研究会の時に、久留米消防署から救急救命士の方を招いて、救命講習(心肺蘇生法)の実践を学びました。心肺蘇生法を行うことが一番ですが、いつ、何が起きるかわかりません。児童と乳児の人形を使い、胸骨圧迫のやり方とAED使用法を学びました。定期的に訓練することで慌てず対処できるのだと実感しました。



【2階事務室に「AED」を設置しています】

「なんだか たのしいね!

2歳児になると同年代の友だちに、はっきり関心を示すようになります。「一緒に遊びたい」という気持ちも芽生え始め、同じ場所において、同じあそびをするようになります。ただし、上手に遊ぶ知恵はまだ少ないので、子ども同士でぶつかり合うことも多いです。保育室でも友だちの存在を感じながら、あそびを楽しんでいるようです。



感染症のお知らせ

手足口病の子が数名出ています。発熱、赤い発疹、口内炎等の症状があります。体調の変化にお気を付けください。

お知らせ

さくら組担任の石橋保育士が9月6日から産休に入ります。代わりに森里帆保育士が担当します。又、9月1日から、田部あず保育士が仲間入りします。共によろしくお祈りします。

